

市政記者各位

2024年8月22日  
福岡市博物館

おおとうろう え

## 特別展「大灯籠絵」を開催します

是非ご取材いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 大灯籠絵とは…

毎年8月24日から3日間、博多区大博町で「大浜流灌頂」が行われます。多くの人で賑わうこの祭りは、博多湾の海難や流行病で亡くなった人々を供養するため江戸時代中ごろに始まったとされています。祭りの場には畳5畳ほどの大きさのある「大灯籠」が灯され、その迫力は人々の注目を集めます。

福岡市内では、夏祭りに「大灯籠」を飾るところがあります。「大灯籠」には、武者絵や説話の一場面などが描かれており、これを「大灯籠絵」と呼びます。近年、調査を行った結果、市内に60点あまりの「大灯籠絵」が現存することが分かりました。現存する最古かつ最大のものは、明治時代中ごろ、今から120～30年前に制作されたと考えられます。

### 圧巻！巨大「大灯籠絵」一挙公開！

福岡市博物館では9月13日（金）より特別展「大灯籠絵」を開催します。博多湾岸の町々の夏の夜を彩った「大灯籠絵」。「大浜流灌頂」のほか、現在も、箱崎・千代・普賢堂町（上呉服町）・唐人町・黒門で行われる夏祭りで飾られています。本展では、これら現役のものはもちろん、市内に現存する「大灯籠絵」の全てを紹介いたします。他にはない迫力の大画面を通して、地域で守り伝えられてきた祭りの文化の豊かさをお伝えします。 ※一部は作品保護のため写真で公開



▲福岡県指定有形民俗文化財「大浜流灌頂大灯籠」（2023年撮影）

▲大灯籠絵「大徳寺焼香之図」／大浜流灌頂継承保存会  
市内最古・最大の「大灯籠絵」 縦290cm×横543cm  
明治時代中頃に福岡・博多を中心に活躍した絵師一得齋高景の作  
120～130年くらい前に制作されたと考えられる。既に「失われた」と思われていたが、近年の調査で「再発見」された。

▲旧大浜公民館での調査で上の「大灯籠絵」が見つかった時のようす

**開催概要 会期：2024年9月13日（金）～11月4日（月・振休）**

場 所：福岡市博物館 特別展示室 時 間：9時30分～17時30分（入館は17時まで）

観覧料：一般1,200円（1,000円）、高大生800円（600円）、中学生以下無料（ ）内は20人以上の団体料金



▲大灯籠絵「伊賀越敵討之図」／宮崎宮 縦180cm×横375cm 有名な仇討ち事件「鍵屋の辻の決闘」を描く

## 子どもたちと制作した「大灯籠絵」も展示

展覧会に先立ち、5月、館内でイベント「灯笼をつくろう」を実施しました。参加者が制作した小型灯笼を会場で展示します。また、7～8月には箱崎・大浜・当仁の3公民館で地域の子もたちと新たな「大灯籠絵」の制作を行いました。絵柄は、それぞれの地域にちなんだものです。制作された「大灯籠絵」も会場で展示します。



▲箱崎公民館 上の「大灯籠絵」を下絵にして制作



▲大浜公民館 大浜の伝統的な幕の図柄「あやめ」の「大灯籠絵」を制作



▲当仁公民館 唐人町のシンボルを組み合わせ制作

### 【参考】これから見られる「大灯籠」

- ◎8/24～25 唐人町・八兵衛地藏尊夏祭り（中央区唐人町 1-8-53 成道寺境内）
- ◎8/24～26 大浜流灌頂（博多区大博町）

■お問い合わせ先 福岡市博物館 学芸課…河口・杉山 TEL 092-845-5011 FAX 092-845-5019